

倉賀野の家

設計者／一級建築士事務所 林藤建築事務所 施工者／株式会社 林藤ハウジング

設計趣旨

CONCEPT

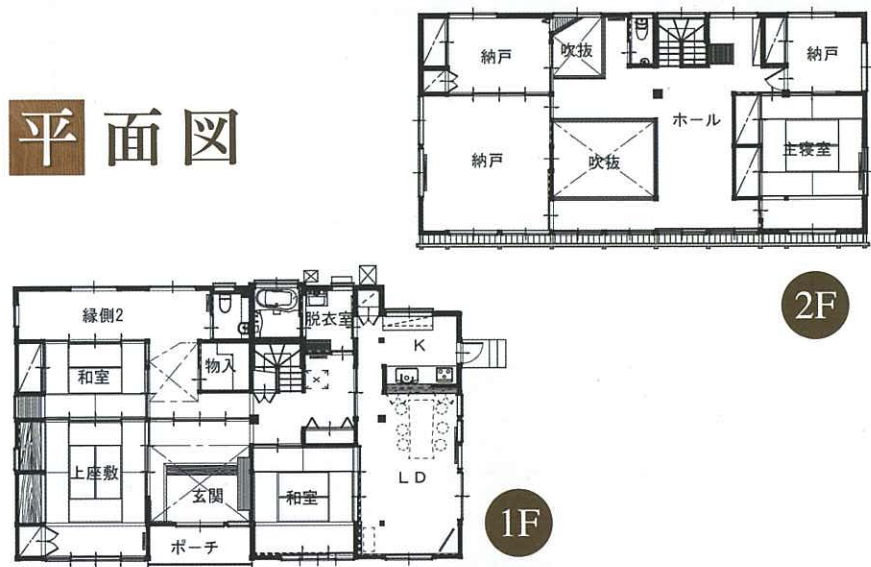
区画整理に係わる工事で、築80数年の家を建て替え新築にするか、引き移転にするか悩んでいましたが、やはりこの養蚕農家の佇まいを残したいという強い希望がありました。現場に行き調査をしたところ、屋根からの雨漏り、外壁等の傷みがありましたが、柱、差し鴨居等は堅牢さを保っていました。

また、小屋裏を覗いたところひとかかえもある地棟やりっぱな丸太梁も狂いもなく、整然と存在していました。これらの古材を上手く活用し、養蚕農家の装いを残しながら、今までの暗い、寒い、使いにくいを解消し、材料も無垢の木と漆喰等自然素材を使いながら、温熱環境、耐震性、通風、採光を考慮し、快適に過ごせるようなプランを考えました。

そして、養蚕農家造りの家も少なくなる中、先人達の思いが込められているりっぱな家づくり、また、家を引継いでいく人の思いを後世に残していく事も我々の責務と考えます。迷っていたご主人が移築に決定したのは、息子のこの家を残してほしいと言った一言だと聞いています。



平面図



引き継いでいく人の思いを後世に残す家



25坪の素直な家

設計者／徳井正樹建築研究室 施工者／株式会社 数寄屋建設

設計趣旨

CONCEPT

この計画はあの大震災から10日目にスタートした。誰もが地に脚が着いていない時に届いた一本のメール。極限の社会状況下に屈せず挑戦する若い夫婦の夢は「2000万円の本物の家が欲しい!」。プロとして引き受けない訳には行かない。そこで浮かんだ言葉は「邪念を削ぎ落とした茶碗の如く!」合板を一切使わず、屋根は瓦、壁は漆喰。そして大黒柱は建主が選ぶ!

この2者の志が25坪の素直な家を生んだ。家全体を仕切らず、大小6つの居場所が曖昧に繋がる小さな家。なれどプライバシーは柔らかに確保。大黒柱を芯に居間+食堂+台所が回遊する生活階と、枝葉の様に繋がる2階の個室は、「簡素こそ豊か」を合言葉に家族と共に成長する。



平面図



自然を感じ、包まれる家



ぐんまの家

Gunma Housing Award

優良賞

百年再生

「松井田宿の家」

設計者／徳井正樹建築研究室 施工者／株式会社 数寄屋建設

設計趣旨

CONCEPT

群馬の家景色の代表格と言えば、養蚕農家だろう。山村、農村、町家を問わず、2階に蚕室を持つ住宅群は、富岡製糸場に繋がる群馬の誇る建物遺産と言える。築約百年を迎えるこの家は中山道「松井田宿」西側の新堀に構える町家型の養蚕農家。そして計画のテーマは「百年再生」「もう百年先まで棲み続けられる家」に整体するのが目的だ。そこに音楽をこよなく愛する家族が計画の核としたのは「音楽団樂という時間づくり」。今後、子供達の時間がますます社会化する中で、時に一人で、時に家族全員で、普通の落ち着きを与えてくれる「演奏時間を共有できる家」こそ、将来に向け、この家族ならではの安心の居場所である。勿論古民家ゆえに暗くて寒くてプライバシー無しという欠点と、基礎や構造体の弱点を同時に克服するための工夫を取り入れたが、それは言わば必要な手段。設計者としては、それら建主個人の思い入れの上に、養蚕町家として中山道の風格を取り戻す役割もこの家に背負ってもらい街道に元気を給油しながら次の百年を見守ってと願うばかりだ。



平面図



演奏時間を共有できる家

